



横浜港シンボルタワー 画・西山孝

横浜港・川崎港見学記録



作成者 川崎の産業観光を支援する会事務局 根岸 雅明

日時 2023年2月6日

京浜港視察会の記録

【概要】国土交通省関東地方整備局の京浜港湾事務所様より横浜港を学ぶ機会をいただきました。

2019年9月3日の横浜港の見学以来約3年半ぶりの視察会でした。今回はコロナ禍であり人数制限もあり一般市民応募ではなく、支援する会の役員及び工場夜景ナビゲーター、産業観光ガイド養成講座受講生を中心に催行した視察会でした。

ぶかり棧橋からたかしまⅡに乗船後、資料を配られた席に着席。この資料をもとにパワーポイントで各施設のふ頭などを照合しながらの案内でしたのでとても分かりやすく、理解を深めることができました。資料がとても有効でした。

天気も良く波も静かだったので、船の上部のデッキに上がり、横浜港や京浜運河をまじかに眺められ、説明を聴きながらでしたのでとても理解が深まりました。参加者の驚きの歓声がとても印象に残りました。

ふ頭でのコンテナの積み荷の多さに驚き、まじかに見た圧倒的なガントリークレーンの大きさ、またふ頭の岸壁の構造もそれぞれの役割や機能に応じて設計されているお話もお聞きできました。岸壁の構造は同じ岸壁（ハイブリッドケーソン護岸や鋼矢板セル護岸）でも一律でないことも知りました。

港湾機能の充実はとても大切なことだと現地を見学することで今回も改めて学びました。このような基盤整備をされている方々に改めに敬意を表したいですね。日本が力強く発展していく役割を担っていることをこれからも願っています。

国土交通省の京浜港湾事務所の副所長様のご説明と谷川様のご案内、船の操縦やスタッフの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。そして参加の皆様。ありがとうございました。また機会を見て今度は一般市民にもこのような視察会を考えていきたいと思えます。

以下はその記録です。

【日付】令和5年2月6日（月）13:00～15:10

【目的】横浜港及び川崎臨港道路の工事進捗状況を見学して横浜港の現状を知り、港の基盤整備状況やその役割等を学ぶ。

【参加者数】15人

【その他】連絡先 国土交通省京浜港湾事務所総務部 谷川様 045-2321-8798

【コース概要】桜木町駅から徒歩15分のぶかり棧橋集合 13:00…出航 13:30～新港ふ頭～大さん橋客船ターミナル～山下ふ頭～大黒ふ頭～本牧ふ頭～新本牧地区工事現場～川崎臨港道路工事現場～ぶかり棧橋下船→15:10 現地解散

【航路ルート図】航路案内図。

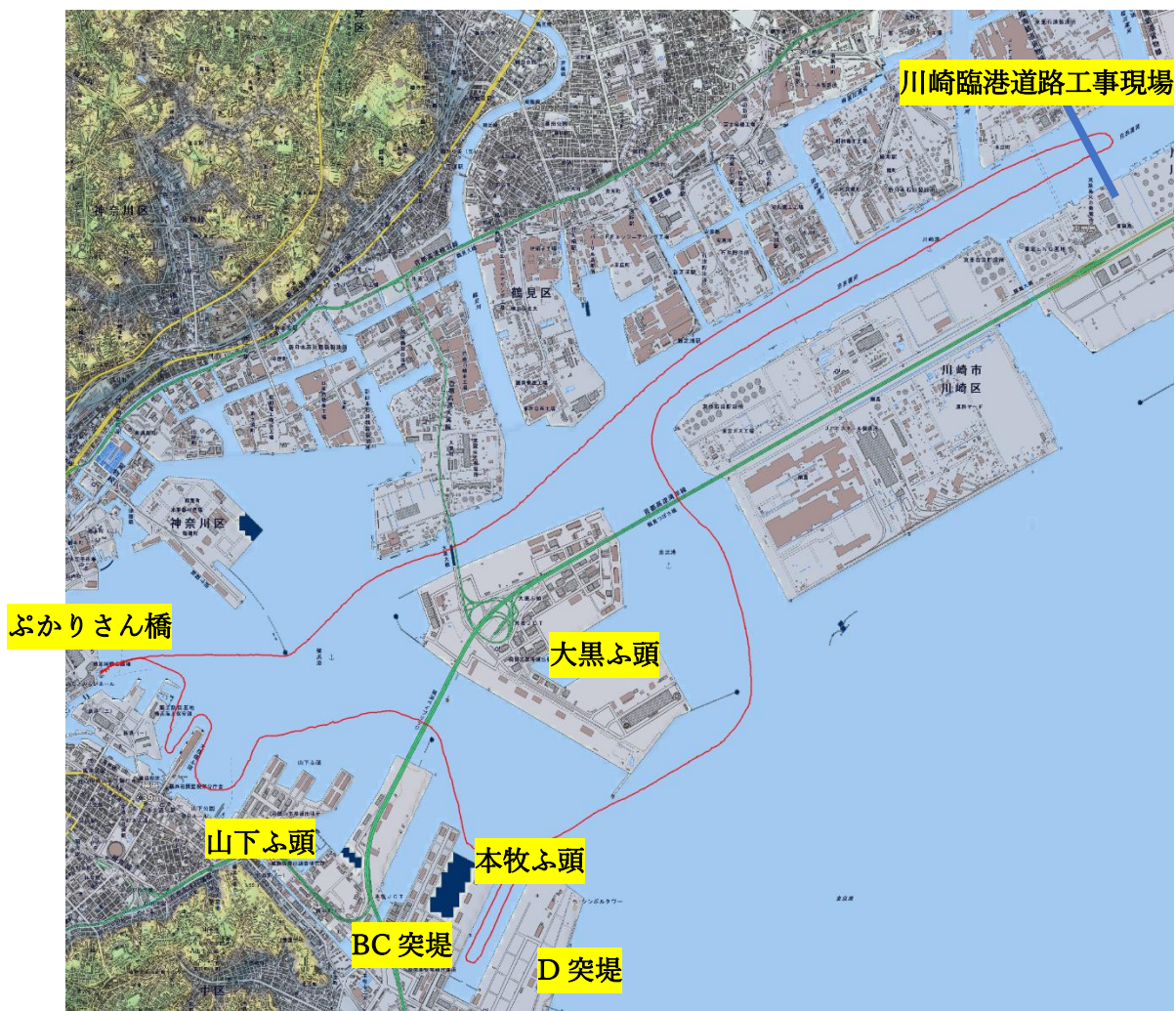


ベイブリッジ 国土交通省京浜港事務所京浜港事務所より参照



鶴見つばさ橋

【航路コース】 山旅ロガーのアプリの GPS からカシミール 3D 地図へ。赤線が航路。



川崎臨港道路橋梁部の完成イメージ 国土交通省京浜港事務所より参照
主塔の高さは羽田空港の空域制限により抑えられている。

【写真】



ぶかり棧橋 13 時集合。13 時半出船。



たかしまⅡ 長さ約 21m、幅約 5m、総トン数約 53t 港湾航空部船舶一覧より参照。



新港ふ頭客船ターミナル（通称ハンマーヘッド）2019.11.4 ダイヤモンド・プリンセス入港
延長 340m、水深 9.5m、11 万 6 千トン級の客船に対応できる。施設は客船ターミナル・商
業施設・ホテルの 5F の複合施設。ぶかり棧橋からの眺め。



ライフジャケットを着用して乗船



各自、事前に配っていた資料の場所に着席する



京浜港事務所の副所長様よりご挨拶とこれからの行程についてのご説明を受ける。



新港ふ頭地区にある横浜海上保安部の船
北朝鮮の工作船の展示建物の説明がありました。



大棧橋客船ターミナル。大棧橋の突端部に浮体式係留施設（ミニフロート）の説明がありました。
災害時の防災拠点としての機能があるそうです。緊急物資、生活用水の確保（ペットボトル）の
保管、海上ヘリポートの役割等。



ミニフロート



大棧橋に接岸しているロイヤルウィング



ガンダムファクトリー

山下公園

2023/2/6 13:37

山下ふ頭と山下公園を望む。山下公園は関東大震災の瓦礫を埋め立ててできた公園



たかしまⅡの上部のデッキ上がり横浜港やベイブリッジを眺める。波も静かで天気も良く最高の視察会でした。

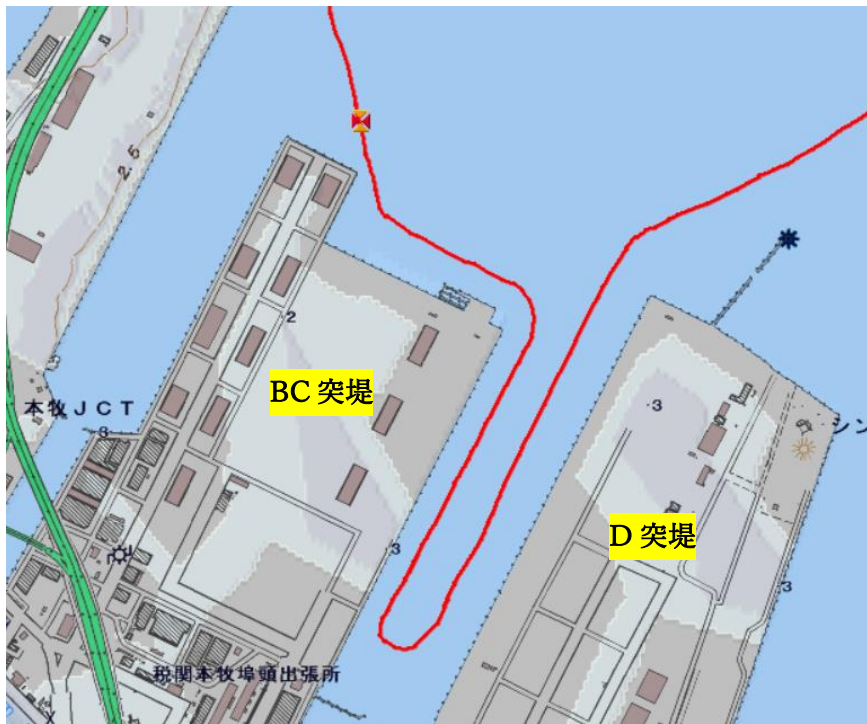








中国の大型コンテナ船







横浜港シンボルタワー。高さ 58.5m (アンテナ部含む)

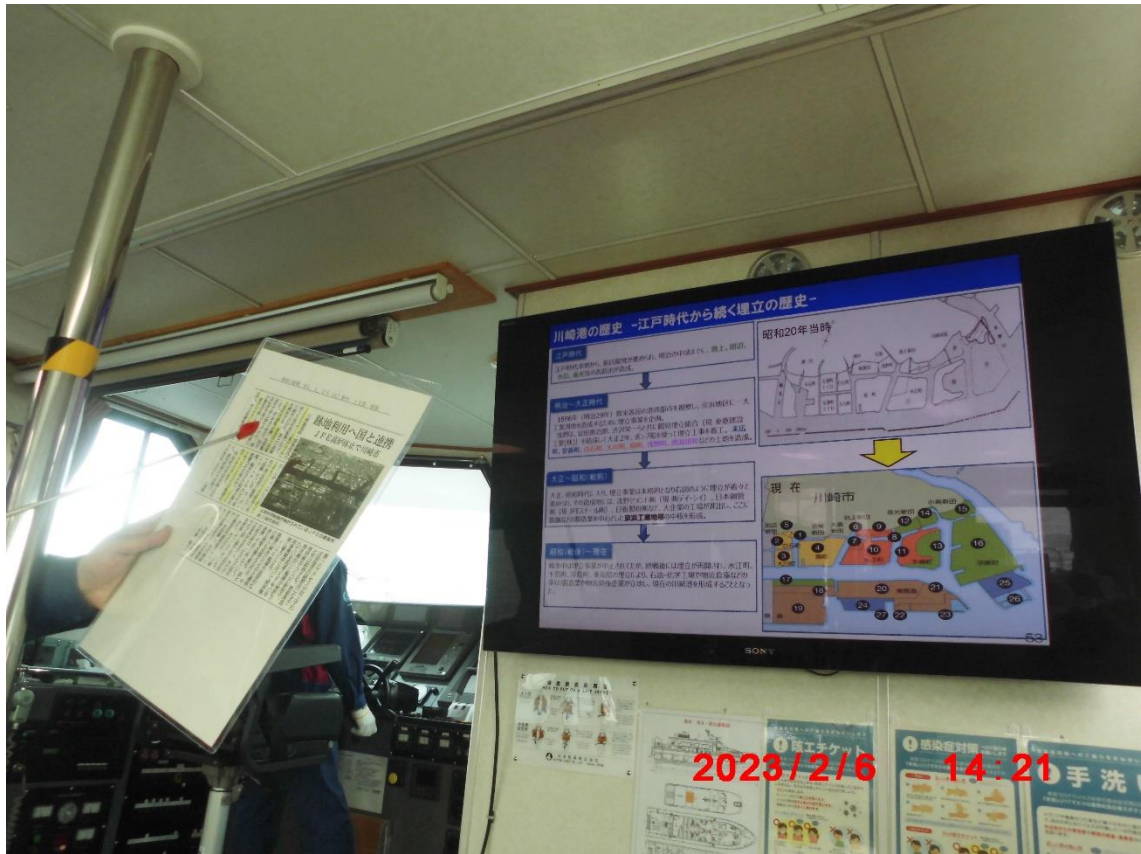


本牧ふ頭の隣に工事中的新本牧ふ頭の説明。大型コンテナ船に対応するための設備。コンテナ機能を移転・集約するそうです。

令和 13 年度完成予定。護岸の水深 18m、長さ 1,000m。地盤改良工事、護岸工事の説明 (ハイブリッドケーソン護岸、鋼矢板セル護岸)

大型コンテナ船南本牧で M S C 最大積載 T E U 23,656。配布資料参照。

T E U (トエンティ・イクイヴァラント・ユニット) 20 フートのコンテナ。



川崎港の歴史について説明。江戸時代から続く埋め立ての歴史



川崎臨港道路の工事中の東扇島側の橋脚



水江町側の橋脚

川崎臨港道路の目的は東扇島地区との物流の強化と防災機能の強化。



東扇島側



水江町側



川崎天然ガス発電所。総出力 84.74 万 KW、燃料 LNG
コンバインドサイクル発電



日清製粉鶴見工場



鶴見資源化センターとふれーゆ
資源として再利用するための缶・ビン・ペットボトル等のさらなるリサイクル推進。



視察会お疲れさまでした。参加ありがとうございました。